

令和6年度

訪問先施設向け

## 保育所等訪問支援評価表

(訪問先施設の皆さまへ)

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を受け入れている訪問先施設の方に、保育所等訪問支援事業所の評価をしていただくものです。

○ 「はい」「どちらともいえない」「いいえ」のいずれかに○を記入するとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

【回答率11件中11件 100%】

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11			・いろいろな情報提供をしていただき、学校での支援に生かしています。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			・実際に指導場面をしっかりと見ることが少なかったため（放課後なので会議等や教師の都合で見れなかった）、後日になって子どもから聞いたり、変化があったりした。	* 担任の先生との情報共有の仕方や時間の確保は今後の課題だと認識しております。今後は、訪問日のだけでなく、先生との情報共有の時間も合わせて設定できるようにしていきたいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	11				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	2		・課題の共有をすることで、本人の特性をより理解できたが、根本的な解決方法が見つからない。 ・支援員の方が子どもの普段の様子を見た上でいろいろお話を聞かせてくれて良いです。	* 課題については、内容によっては根本的な解決は難しく、合理的な配慮、その子に合わせた支援を継続していくことが求められることも多々あります。そのお子さんやご家族の不安や困り事が少しでも解決していけるように今後も協力し合っていきたいです。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	2			
その他、お気づきの点をご記入ください。						ご意見を踏まえた対応
<p>・あわただしくお忙しい中訪問して下さること、感謝しておりますが、<u>やっぱりせっかく共有する機会なので、じっくりお話を伺う時間がもう少しあるといいなと、担当からは希望が上がっています。</u></p> <p>・日々の変化に対応しなければならない中、学校生活での支援の柱となるところをアドバイスいただき、大変感謝しております。今後も生徒たちのためによりよくお願いいたします。</p> <p>・学校では、通常級での様子、個別学級の様子、個別学級でも複式でやるパターンなど大きく分けてこの3パターンで、本人の周りとの接し方や態度、考え方が違っていることが多く、多種多様な指導の引き出しが必要と感じているので、「<u>何のために、〇〇が有効なのか</u>」という原理とやり方を伝達してほしいと思います。</p> <p>・いつも訪問支援に来ていただきありがとうございます。その子の様子を共通理解できる環境がとても良く、心強かったり、相談できたり、育ちが感じられたりと、とてもありがたく思っております。今後もよろしくお願いいたします。・今年度は1件も訪問していないので、昨年度のことを思い出しながら記入しました。</p> <p>・登録している保護者はもっと頻繁に（月1月2？）訪問していると認識しているようで、懇談の際に「<u>そんなにたくさん来てないんですね・・・</u>」となることがありました。こまめに来ていただいているお子さんもいますが、<u>重度のお子さん以外の子についても、もう少し増えると保護者としては良いのでしょうか。もしくは、現実的に行けるくらいの目安をセンターの方から伝えていただくと（回数を増やすのは大変だと思うので、こっちの方がいいのではと思います。）</u>よいのかなと思います。</p> <p>・いつもありがとうございます。書面等だけでなく、直接子どもたちの様子を見ながらお話させていただけるので、こちらでも伝えやすく、聞きやすい（質問しやすい）環境で、大変助かっています。来園していただいたときに園児以外の子の様子を相談でき、助言をいただけるのでとても嬉しいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>・なかなか授業中に同行できないこともありますが、後日教えていただいたり、病院等の情報も提供していただき、大変助かっています。</p> <p>・（5について）私個人としては満足しています。なぜなら、私自身はセンターの方と積極的に会話ができるチャンスがあるからです。一方、<u>他の職員からは、「何を知りたいか、事前に明確に教えてほしい」という声もありました。また、十分に会話するチャンスがない職員にとっては、情報提供しているという認識で、自分たちが支援されているという実感がありません。</u></p> <p>・</p>						<p>主に左欄の下線部についてのセンターからの対応策となります。</p> <p>* 訪問支援事業において、家庭の様子や医療受診等の連絡、訪問支援の日程調整含めて、初動段階で関わるコーディネーターの先生や教頭先生等とは会話する機会も多いのですが、担任の先生と直接話す時間がなかなか取れていないお子さんもいることは今後の課題だと認識しております。今後は、担任の先生や支援員の先生、またお子さんによっては通常学級の先生とも、定期的なケース連絡の他、電話やメールなども活用しながら小まめに情報共有し、共通の配慮、支援の仕方等を実践していくことで、より良い支援に繋がっていければと思っています。</p> <p>* センターではお子さんによっては医療や養護学校の先生とも連携を図りながら支援しているケースもおりますので、情報を整理し、その子の発達、またニーズは何で、どのようなアプローチが効果的なのかを口頭、また書面にて情報提供できればと思っています。</p> <p>* 訪問の頻度については、契約時に保護者と確認した上で、また懇談やモニタリングなどでもお伝えしておりますが、お子さんによって頻度がまちまちな状況であることもあり、その辺りも含めてしっかり説明していきたいと思います。</p>